



(写真右上から時計回りに)はわい温泉の旅館千年亭の露天風呂／雨滝／「とうふ工房 雨滝」の「できたて豆腐膳」は1380円／倉吉白壁土蔵群／「地元の米を使っています」と、白壁土蔵群にある「元帥酒造本店」の中村綾香さん／因幡万葉歴史館

### 注目 白兔神社

鳥取西道路の開通後、同じく東西に走る国道9号線の渋滞が緩和され、再注目されているのがココ。神話「因幡の白兔」の舞台で、その白うさぎを祭る神社です。縁結びの神様でもあり、県内外から人が訪れています。海沿いの道の駅「神話の里白うさぎ」も隣接しています。



企画・制作／中日新聞広告局

## 鳥取西道路の開通でグンと近くなった!

# 鳥取県中部まで行ってみよう

鳥取砂丘がある県東部と、懐かしい風情漂う倉吉エリアが人気の県中部。鳥取県内を無料で通行することのできる高速道路の整備が進む中、両地域を結ぶ無料の高速道路「鳥取西道路」が先月全線開通、県中部へのアクセスもぐっと楽になりました。そこで、訪れた中から東部・中部それぞれのお勧めスポットをピックアップして紹介します。



### 4時間15分で鳥取県中部へ

全線が開通した鳥取西道路は、同県の東部を縦断する鳥取自動車道の終点・鳥取ICから県東部の西の端、青谷ICまでの東西区間です。新たに開通したのは距離にして20km弱ながら、所要時間は大幅に短縮。名古屋方面から、4時間15分でアクセスできます。



(土)には飲食店や展望台を有する一角「打吹回廊」がオープンするとか。地区全体は1時間程度で往来できるので、思い思いの散策に興じてみましょう。

倉吉を後にし、次は湖畔の温泉地はわい温泉を目指します。鳥取観光では温泉も欠かせない楽しみで、ここは東郷湖の湖底に源泉を持ち、全ての湯宿が源泉かけ流し。朝は伝統のシジミ漁も見られます(日々金曜の午前7時)。ちなみに温泉名は、現在の湯梨浜(ゆりはま)町となる合併前の羽合(はわい)町に由来しているそうです。

### 県東部では、涼が取れるスポットへ

温泉で英気を養った翌日、再び鳥取西道路を使って県東部へ。中間地点にあたる浜村鹿野温泉ICの隣地では、明日6月30日(日)に道の駅「西いなば気楽里(きらくり)」がオープン控え、にわかに活気づいています。

県東部では、因幡万葉歴史館が外せません。というのも鳥取は万葉集の最後の歌が詠まれた地。万葉集関連の展示を行っている同館は、新元号・令和の開始以来、押しも押されぬ人気スポットなのです。館内で涼を取りつつ、万葉の時代に思いをはせてみませんか。

涼を取るといえば、鳥取市国府町の雨滝(あめだき)が一押し。溶岩の切れ目から水が湧き出しているというこの滝へは、駐車場から遊歩道で行きます。頭上40mの滝口は、腕を伸ばして比べた手のひらよりも小さく、流れ落ちた水はあふれ出んばかり。たわむれるようにマイナスイオンを浴びたいものです。

雨滝の程近くに、「豆腐店」とうふ工房「雨滝」がありました。店主いわく、生搾り製法にこだわった豆腐は一日300丁限定とのこと。今回の旅は、店内で味わえる「できたて豆腐膳」で締めくくりにしましょう。

### ◆アクセス

名古屋方面から↓(名神・新名神高速↓中国道)↓作用JCT↓(鳥取自動車道)↓鳥取西道路↓山陰道)↓はわいIC下車、倉吉市へ／約370分

### ◆問い合わせ

鳥取県産業・観光センター(中区栄4-1-6-36 久屋中日ビル5階) 電話052・2625411